

# 2019年規則の分かりやすい解説

2019年1月1日から新しいゴルフ規則が施行されます。

この新しいゴルフ規則について、図を用いて分かりやすい説明を作ってみました。

詳細な内容についてはJGAホームページやUSGAホームページに掲載されている資料をご参照下さい。

## 1. 全般

### (1) 期待されるプレーヤーの行動基準の強化(規則 1.2)

すべてのプレーヤーは、ゲームの精神の下でプレーすることが期待されています。

すべてのプレーヤーに誠実に、他の人を思いやり、そしてコースを大切に扱って行動することです。



### (2) 委員会は行動規範を作ることができます(規則 1.2b)

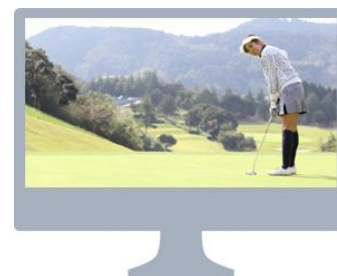
委員会はエチケットやゴルフゲームの精神に反する行為をしたプレーヤーに失格以外の罰、例えば、1打や2打の罰を課す行動規範を作ることができます。



### (3) プレーヤーの合理的な判断(規則 1.3a)

プレーヤーによる様々なルール上の処置が、後にビデオ判断で誤っていたとしても、プレーヤーの「合理的判断」が支持されます。

ボールを確認の為に、拾って損傷しているかどうかを確認する時の告知手順が削除されます。



### (4) ラウンド中に損傷したクラブの使用と取り換え(規則 4.1)

プレーヤーがクラブの損傷の原因になっていない場合、損傷したクラブを取り替えることができます。

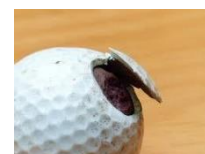
ラウンド中にあなたの責任でクラブを損傷した場合、その損傷クラブを取り換えることはできませんが、損傷クラブでプレーを続けることができます。



### (5) ホールのプレー中に損傷した球の取り換え(規則 4.2)

プレー中に球が切れたり、割れたりした場合に限り、球を取り替えることが許されます。変形しているだけでは取り換えは許されません。

但し、救済を受けるときは、いつでも球を取り替えることができます。



(6) 距離計測機器の使用が認められます(規則 4.3)

距離計測機器の使用が認められ、2点間の距離を計測することができます。しかし、高低差、風向きなど、他のプレーに影響する要素を計測することはできません。



(7) 最大スコアの採用(規則 21)

委員会で各ホールのプレーヤーの最大スコアを設定することができます。

例えば、ダブルパーや決めたスコアやネットダブルボギーなどを最大スコアに設定することができます。



(8) 5つのコースエリア(規則 2.2)

コースは5つのコースエリアに分けられ、その名称が変わるものがあります。

ティーインググラウンド

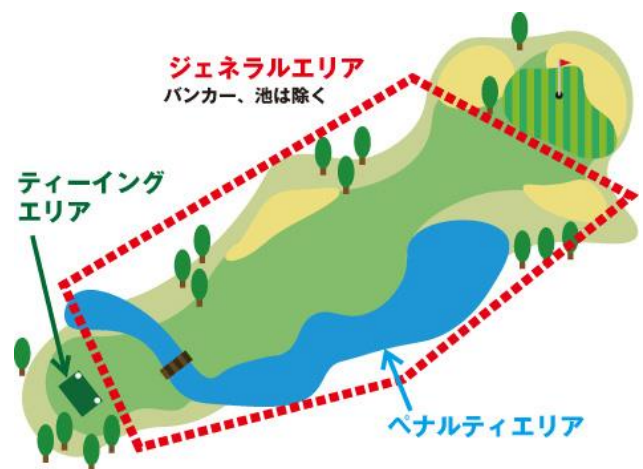
⇒ティーイングエリア

スルーザグリーン⇒ジェネラルエリア

バンカー(変わらず)

ウォーターハザード⇒ペナルティエリア

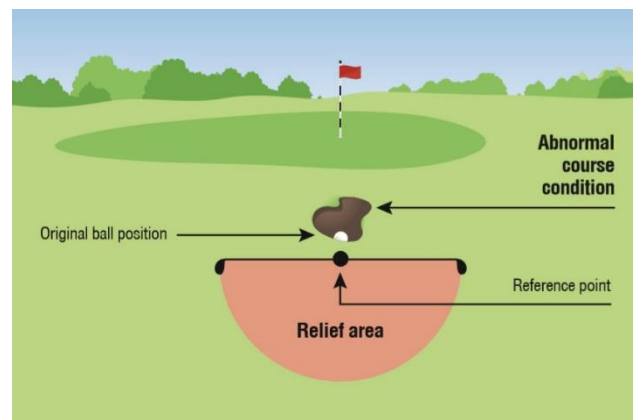
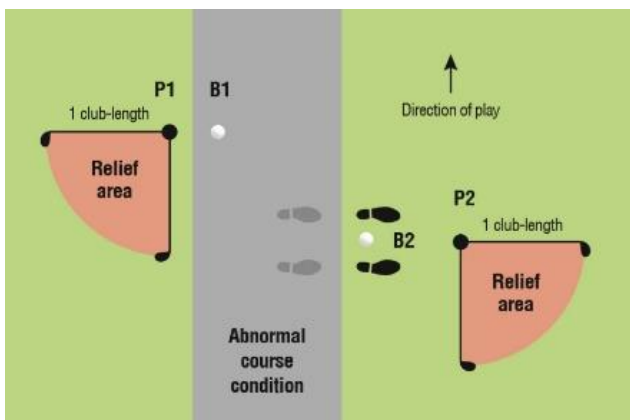
パッティンググリーン(変わらず)



(9) 異常なコース状態からの救済(規則 16)

ジェネラルエリアでは、異常なコース状態(動かさない障害物を含む)、危険な動物の状況、地面に食い込んだ球からの救済を無罰で受けることができます。

(フェアウェイ以外でもジェネラルエリアであれば救済を受けることができます)



(カート道路などの処置は現規則と同じです)

(10) 球を動かしたことの判断基準(規則9.2)

球が動いた場合、プレーヤーが原因なのか、風、傾斜、その他が原因なのか判断が難しい場合があります。新しい規則ではプレーヤーが球を動かす原因となっていたと判断する場合の基準を「分かっているか、事実上確実」としています。「事実上確実」は95%以上の可能性を意味しています。



(11) OBや紛失球は消えた周辺から2罰打で打てる(規則18.2)

ローカルルールでOBや紛失球の裁定を定めることができます。

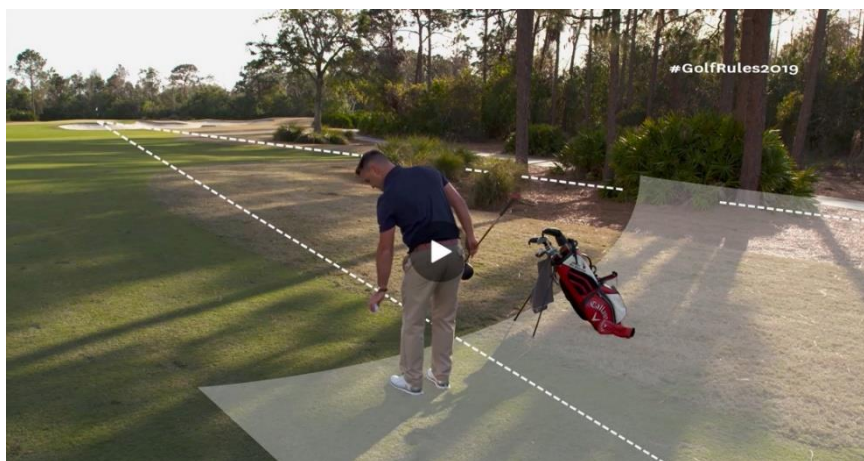
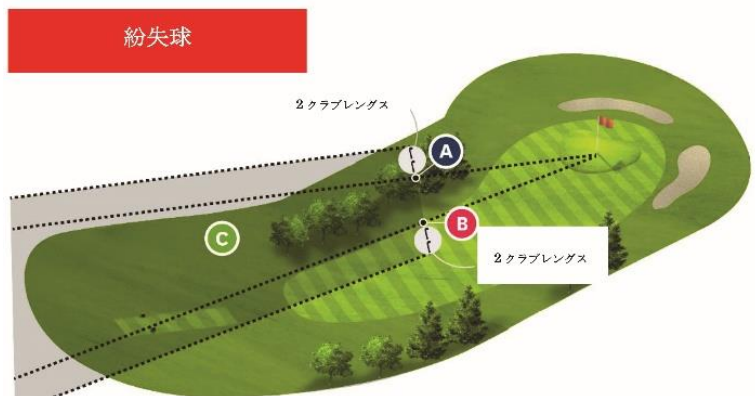
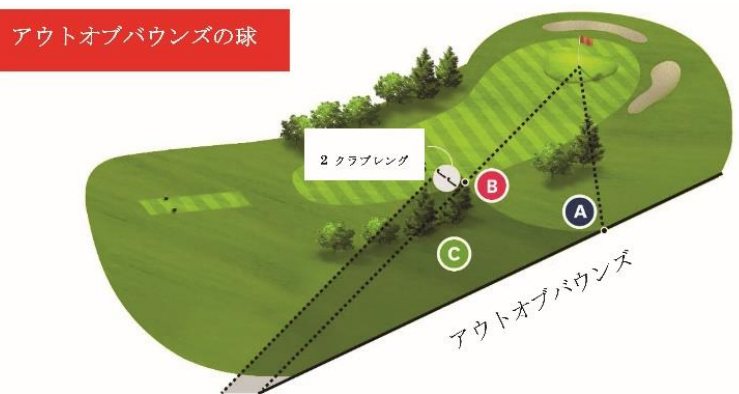
A: 決定する場所

球がアウトオブバウンズとなった場所、または紛失した可能性のある場所。

B: 最も近いフェアウェイを見つけるホールに近づいてはならない

C: 網掛けの区域にドロップ

一方のサイドはホールとAを結ぶ線上、もう一つのサイドはホールとBを結ぶ線上を定めて、救済エリアはその両サイドから2クラブレングスの範囲を含めた区域となる。





## 2. ジェネラルエリア

### (1) スタンスをとった後、キャディが後方に立つことはできません(規則 10.2)

新しい規則ではプレーヤーがスタンスをとった後にキャディを後方に立つことを禁止しています。ストロークを行う前にキャディがその場所を離れたとしても一般の罰(ストロークプレーでは2打)を受けることになります。



### (2) 速やかなプレーのペースの推奨(規則 5.6)

レディゴルフの勧め(準備ができたプレーヤーからプレーする)とプレーヤーがプレーできる状況になった後40秒以内にストロークを行うことが求められています。



### (3) 2度打ちしても罰はありません(規則 11.1)

2度打ちをしたときの1罰打がなくなります。偶然、不可抗力で2度打ちをしたことに罰を課す必要はありません。そのストロークを1打と数えるだけとなります。



### (4) ストロークした球が自分に当たっても罰はありません(規則 1.1)

ストロークした球が偶然にプレーヤー自身に当たってしまった、または自分のキャディや用具に当たってしまった場合も罰はありません。球はあるがままにプレーします。



### (5) 救済を受けるときにマーカーに告げる必要はありません(規則 4.2b、7.3、16.4)

現在の規則では、救済処置をする場合にマーカーに告げることを求めているものがありますが、もうその必要はありません。これはプレーヤーの誠実さを信頼するというこのゲームの原則を尊重しています。なお、暫定球をプレーする場合は、これまで通り、「暫定球をプレーします」と告げなければなりません。



(6) 球を探しているときに球を動かした場合元の位置に戻せば罰はありません(規則 7.4)

プレイヤーは隠れている球を探しているときに万一球が動いてしまったときは、推定された元の箇所にリプレイスすれば罰はありません。

規則に基づいて球をリプレイスするときに、その場所が分からない場合、リプレイスする箇所を推定してその球をリプレイスすることになります。

現行の規則ではドロップとなっています。



(7) ジェネラルエリアで地面にくい込んだ球は罰なしで救済を受けることができます(規則 16.3)

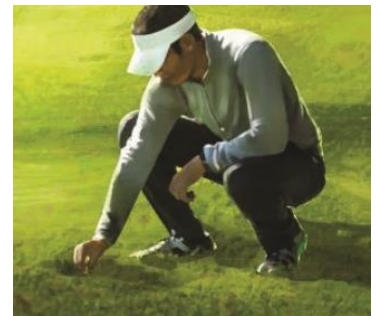
ジェネラルエリア(スルーザグリーンに代わる新しい語)のどこでも地面にくい込んだ球を罰なしに救済を受けることができます。

但し、ローカルルールで救済をフェアウェイの芝長さ以下に刈った区域に制限することもできます。



(8) 救済を受けるときは、いつでも球を取り替えることができます(規則 14.3)

現在の規則では罰なしの救済(例えばカート道路からの救済)では球を取り替えることはできません。新しい規則では、罰あり、罰なしに関係なく救済規則に基づいて拾い上げた球は別の球に取り替えることができます。



### 3. バンカー

(1) バンカーのルースインペディメントを取り除くことができます(規則 12.2)

球がバンカー内にある場合、ルースインペディメント(木の葉、石などの自然物)を罰なしに取り除くことができます。



(2) バンカーで2罰打を加えたら、バンカー外にドロップできます(規則 19.3)

バンカーに球があるときに、アンプレヤブルの追加の選択肢として、2打の罰を加えれば、球とホールを結ぶ線上でそのバンカーの後方の外側にドロップすることができます。バンカーが苦手なプレイヤーにとってはよい規則かも知れません。





#### 4. ペナルティエリア

##### (1) 球の搜索時間が3分になります(規則 18.2)

球の搜索時間が5分から3分に短縮されます。このことは紛失球となる可能性を高めるので暫定球をプレーするプレーヤーが増えるかもしれません。全体的にはプレーのペースに役立ちます。



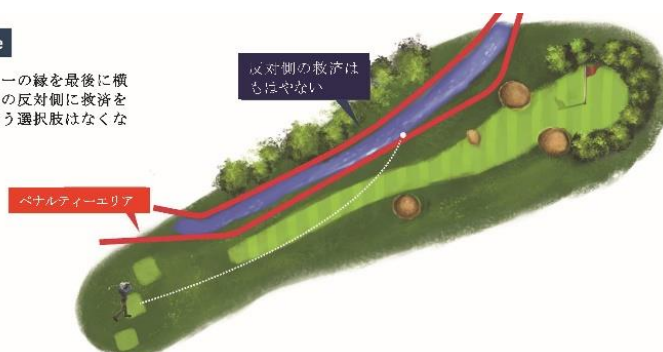
##### (2) ウォーターハザードはペナルティエリアという新しい概念に変わります(規則 17、17.1c)

現在のウォーターハザードは水域だけの設定ですが、新しいペナルティエリアは水域だけでなく、委員会が1打の罰で救済を認めたい区域に設定することができます。

例えば、ブッシュや崖、球を見つけることや打つことが困難な雑木林などをペナルティエリアとして設定することができます。救済処置は原則として現在のラテラル・ウォーターハザードと同様ですが、対岸の処置を使うことはできません。

##### 2019 Rule

ペナルティの線を最後に横切った地点の反対側に救済を受けるという選択肢はなくなります。



##### (3) ペナルティエリアではクラブを地面につけることができます(規則 17.1a)

ペナルティエリアの球をあるがままにプレーする場合、クラブを地面につけることができますし、ルースインペディメントを取り除くこともできます。つまり、ジェネラルエリアと同じ規則でプレーすることができます。



##### (4) 救済エリアを計測するクラブ(規則 14.3)

1クラブレングスや2クラブレングスの救済エリアを計測する場合に使用するクラブは、プレーヤーがそのラウンドのために持ち運んでいる最も長いクラブ(パターを除く)となります。したがって状況によってクラブレングスを変えて計測するクラブを変えることはできません。



##### (5) ドロップの方法(規則 14.3)

現在の規則は肩の高さからドロップしますが、新しい規則では膝の高さからドロップすることになります。低い位置からドロップすることで、救済エリアの中に球を止めやすくなり、再ドロップなどのさらなる処置をすることを避けることができます。



## 5. パッティングエリア

### (1) 旗竿を立てたままパットすることができます(規則 13.2)

パッティンググリーンからパットするときに旗竿を立てたままパットすることができます。もしパットした球がホールに立てられているその旗竿に当たっても罰はなく、球はあるがままにプレーします(ホールインが認められる)。この規則はロングパットの際に誰かが旗竿に付き添ってくれるのを待つ時間を節約することができるでしょう。



### (2) パッティンググリーン上で球を動かしたことに對する罰はありません(規則 9.2、9.3、13.1c(1)、(2))

プレーヤーがパッティンググリーン上のそのプレーヤーの球を偶然に動かす原因となった場合、罰はありません。

自然の力がパッティンググリーン上の球を動かす原因となった場合、プレーヤーが次にプレーしなければならない場所は、その球が(自然の力で動かされる前に)すでに拾い上げられ、元の箇所にリプレースされていたかどうかによります。



- ・すでに拾い上げられ、リプレースされていた球は元の箇所にリプレース
- ・まだ拾い上げられておらず、リプレースされていなかった球はあるがままにプレー

### (3) パッティンググリーン上のプレーの線に触れただけでは罰はありません(規則 8.1)

パットをするときにそのプレーの線上のグリーン面に触れただけでは罰はありません。

例えば、キャディさんがねらい目を指で触ることも違反ではありません。

ただし、改善をしたという事実があれば罰(ストロークプレーでは2罰打)を受けることになります。



(4) **パッティンググリーン上の損傷箇所を修復できます(規則 13.1b)**

パッティンググリーンの損傷箇所(人、動物、乗り物などによって作られたもの)を修復することができます。例えば、プレーの線上にあるスパイクマークを修理することができます。ただし、自然に窪んでいるところを平にすることはできません。



(5) **キャディはパッティンググリーンの球をマークして拾い上げることができます(規則 14.1)**

現在の規則では、キャディであってもプレーヤーの球を拾い上げる場合はその都度承認が必要です。新しい規則では、パッティンググリーンの球に限っては、キャディがプレーヤーの承認を得なくてもマークして拾い上げることができます。



以上